

2025 年 9 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号 2 4 9 8)
問合せ先 取締役統括本部長 橘 義 規
TEL 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル ラオス国 首都ビエンチャン上水道拡張事業起工式

2025 年 9 月 16 日、当社グループの事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：米澤栄二 以下：OC Global）が共同企業体*幹事会社として詳細設計、入札支援、施工監理のコンサルティングサービスを実施している「ラオス国首都ビエンチャン上水道拡張事業」の起工式が行われました。式典には、ラオスから Artsaphangthong SIPHANDON 市長、Sililaththongsin THONGPHENG 副市長、ビエンチャン市公共事業運輸局の Bounyavath NIRAXAY 局長、財務省の Vilate KINNAVONG 局長らが、日本から在ラオス日本国大使館の小泉勉特命全権大使、JICA ラオス事務所の小林美弥子所長らが出席されました。施工は株式会社クボタ建設、株式会社クボタ、丸紅プロテックス株式会社が担当します。

*株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル、SMEC International Pty Limited、SK CONSULTANTS



起工式でスピーチを行う
Bounyavath NIRAXAY 局長



起工式後の OC Global 関係者記念写真



Soil Digging Activity 後の記念写真

右から 6 番目：Artsaphangthong SIPHANDON 市長、左から 4 番目：Sililaththongsin THONGPHENG 副市長、
左から 3 番目：Bounyavath NIRAXAY 局長、左端：Vilate KINNAVONG 局長、右から 5 番目：小泉勉大使、
右から 4 番目：JICA 小林美弥子所長、右から 2 番目：OC Global 副社長森 睦也

ラオス国の首都ビエンチャンでは、近年の急激な経済成長と人口増加により水需要が著しく増大し、その整備が追いついていない深刻な状況にあります。既存の浄水場の多くは、すでに設計された生産能力を超える過負荷運転を余儀なくされており、水道普及率も都市部で約 7 割にとどまっています。さらに、現在の供給能力 32 万 m³/d に対して、2030 年には 40 万 m³/d 以上の水需要が見込まれており、このままでは市民生活や産業活動に不可欠な水の安定供給が大きく脅かされることが懸念されます。

本事業は、首都ビエンチャンにおいて、逼迫する現在及び将来の水需要に対応するため、浄水場や配水池といった水道施設を計画的に拡張・整備することを目的としています。これにより、全ての市民が安全な水へ安定的にアクセスできる体制を構築し、過負荷運転の解消と給水の安定化を図ります。

OC Global は、浄水場拡張事業を通じて、安全な水を安定的かつ持続的に供給する基盤を整え、当該国の公衆衛生と生活水準の向上を支援します。



以 上

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
担当 広報室 富田早季

TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020

[URL:www.ocglobal.jp](http://www.ocglobal.jp)